

テレビ東京グループ ステークホルダー通信

ナナノワ

今日とあしたと、
笑顔をつなぐ、
ナナノワ

2017 Winter

第8期中間報告書
2017.4.1 >>> 2017.9.30



“伝える”ことを通じて、
多様で豊かな社会づくりに
貢献したい。

テレビ東京グループは、「経済報道・健全なエンターテインメント・アニメ」などの番組、コンテンツを中心に、「頑張る人や企業」「人の絆、家族の絆」「地域そのものの魅力」「多様な文化の“芽”を育てる」といったことを大切にしながら個性と独自性を培ってまいりました。これからも“テレ東DNA”を力の源泉に番組・コンテンツづくりにまい進し、豊かな社会の実現と文化の創造につなげてまいります。

CONTENTS

トップメッセージ	2
特集 小孫社長インタビュー	3
テレビ東京グループ 事業報告	7
2017年9月期 業績報告	11
CSR次世代育成プログラム	13
テレビ東京グループ・TXNネットワーク	14

『テレビ東京らしさ』を培い、 コンテンツ価値の最大化を目指します。

皆様におかれましては、平素よりテレビ東京グループに対して格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

テレビ東京グループの2017年度上半期は、昨年開催された「リオデジャネイロオリンピック」の反動があったものの、グループ全体による積極的な事業展開の結果、当初予想を上回る業績となりました。

中間配当につきましては、一株につき15円を配当することに決定いたしました。

私どもテレビ東京グループは、新たな可能性を追求し挑戦を続けることが番組制作の本質であり、“テレビ東京らしさ”とは独自性のあるコンテンツづくりに真摯に取り組むなかで培われていくものだと思っております。

推進中である「2017中期経営計画」では、変革の中にある放送ビジネスにあって、テレビ東京グループが次代を担うコンテンツ制作、発信者であり続けるために、「地上波放送、BS放送、インターネット配信の一体的な運用」を戦略の柱としております。最大の課題である地上波、BS波という放送番組力の向上に加えて、急速に広まるインターネットによる映像配信事業も成長のエンジンとして取り込むことでコンテンツ価値の最大化を目指してまいります。「4K」などの新技術にも対応し、高精細で魅力溢れる映像をお送りすることで視聴者の皆様に豊かな時間を提供してまいります。

今後も株主の皆様をはじめとするステークホルダーや視聴者の皆様のご信頼とご期待に応えてまいりますので、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社テレビ東京ホールディングス

株式会社テレビ東京

代表取締役社長 **小孫 茂**

TOP INTERVIEW

ふだん着の番組が「共感」を呼び
大変革時代の波を乗り越える

株式会社テレビ東京ホールディングス
株式会社テレビ東京
代表取締役社長

小孫 茂 Shigeru Komago

1976年日本経済新聞社入社。2008年取締役東京本社編集局長。常務取締役、専務取締役を経て14年副社長に就任。2015年テレビ東京ホールディングス取締役副社長、BSジャパン代表取締役社長、テレビ東京取締役副社長などを経て、2017年6月からテレビ東京ホールディングス・テレビ東京代表取締役社長。

—— 社長就任から約半年が経過しました。現状をどう捉えていらっしゃるのか。

❖ 追い風が吹いていると感じます

2017年度上期視聴率は、ゴールデンタイム(以下GH)が前年に比べ、0.2ポイント上昇し、シェアも0.4ポイント上昇しました。全日では3半期連続で2.8%をキープしています。

レギュラー番組では、『緊急SOS!池の水ぜんぶ抜く大作戦4』が激戦区といわれる日曜日のGHで視聴率11.8%を記録しましたし、『出川哲郎の充電させてもらえませんか?』も好調です。特別番組では『テレ東スポーツ祭』が大健闘し、5月29日～6月4日のGHが、週間平均8.6%と開局以来初の在京民放3位を達成しました。

数字以外でも、社長就任以来この半年間、社交辞令もあるとは思いますが、どこの会合に出席しても、「いいねテレ東」と言っていただき、「あれはダメだね」という言葉を聞いたことがありません。こうした状況から、そよそよ追い風が吹いてきているのを感じています。身近なドラマを、ふだん着の番組にする感覚が視聴者の皆様の共感を呼んでいるのではないのでしょうか。

—— 特にどの番組が、共感を呼んでいると感じられますか?

早朝から深夜まで、同じ印象を受けます。先日驚いたのは、とある場所で初対面の若い方から、『YOUは何しに日本へ?』の良さを10分にわたって語られたことです。こういう方が番組に入り込んでくださっている、共感を持って見ていただいているのだなと感じました。

—— 手前みそですが、「よくこんなことを思いつくな」というコンテンツが多いい印象がありますね。

そうですね。プロデューサーはもちろんですが、スタッフも、自分でアツと気づく瞬間というのを非常に大事にしているのではないかと思います。テレビ番組では、この“気づき”は重要です。面白いことも大事なのですが、視聴者には「何か気づかせてくれる」という期待感が必ずあります。その“気づき”が良しと思われれば共感につながり、いろんな形で指標につながってくるのだと思います。

—— 他局とは一線を画しているという感じですか。

私もそうなのですが、視聴者の皆さんは、他局で見られるものをテレビ東京で見たいとは思わないのではないのでしょうか。そういう意味では有利な立場にいます。さらに追い風を感じるのは、「テレビ東京なら出てもいい」という俳優さんやタレントさんが、少しずつ増えてきたことです。視聴者に広がった共感が、出演者にも少しずつ広がっていくので、これを大事にしていかなければと思っています。

—— 池上彰さんもそうですよね。選挙の度に、他局から声がかかっても「テレビ東京で」と言っていただけ。こういう番組が継続してできるようになったことが、昔では考えられないことですね。

注: (『池上彰の選挙ライブ』。2010年より生放送されている選挙特別番組。)

いよいよ選んでいただけるテレビ局になりつつあるのかなと思います。楽屋に行くとか、

このような素晴らしい方々が出てくださっているのかと驚くほどです。

—— そういう風が、グループにも波及して行くのでしょうか。BSジャパンでも評価されるコンテンツが増えてきました。

『山本周五郎時代劇 武士の魂』の第一話「大将首」は、平成29年日本民間放送連盟賞番組部門テレビドラマ番組優秀賞を受賞しました。昨年度に続いての快挙で、作品の質の高さを証明できたと思っています。派手さはない時代劇ですが、制約のあるなかで工夫しながら作っているところが、ファンを集めているのでしょう。秋からはBSジャパンにとって大冒険ともいえる、現代ドラマの連続ドラマ「浅田次郎『プリズンホテル』」も始めました。これもまずまずの滑り出しで、良い方向へ進んでいると自負しております。



佐々木明子 アウンサー

1992年入社。スポーツ担当を経て2001年から報道ヘシフトし、2006年にニューヨーク支局に勤務。2014年より現在まで「ニュースモーニングサテライト」のメインキャスターを務める。



— 量より質を追求していますね。

量より質というと、なんだかおこがましいじゃないですか(笑)。ただ、たくさんの制約の中で、頭と足を使って、結果的に質を高めているテレビ局だと思います。最後の最後まであきらめずに工夫し、努力した結果が、テレビ東京の質なのだと思います。

— 一般的にも「独自路線だよ、周りを気にしないよね」と言われることがありますね。

気にはしているんですよ(笑)。視聴率もかなり分析していますし、収益もそうです。

上期はタイムが前年にリオ五輪で膨らんだ反動で減少しましたが、スポットで頑張り、連結では前年同期比プラスになりました。営業利益、経常利益もプラスに転じ、早くも昨年の本社移転とマスター更新に伴う負担増を吸収する体質になりました。

放送以外では、7月公開の出資映画「銀魂」が興行収入38億3千万円(10月22日

時点)、観客動員数291.5万人を記録する大ヒット。20周年記念作品である『劇場版ポケットモンスター キミにきめた!』は、興収34億2千万円、動員数292.3万人(9月末時点)と、こちらも長く皆様に愛される作品であることを改めて実感しました。

配信事業では、「あにてれ」や「テレビ東京ビジネスオンデマンド」など、小さいながらも自前のプラットフォームを持ち、外資も含めた複数の外部プラットフォームへのコンテンツ販売や、世界配信を視野に入れた共同での番組制作も行っています。やはり周囲を見ていると、時代の流れとして、今後はこのインターネット配信の部分を強化することが重要になってくるでしょう。

◆ 地上波、BS、配信の一体化をさらに進めます

— インターネット配信の急速な成長に伴い、株主様のなかには、テレビ業界の将来を懸念されている方もいらっしゃると思います。テレビ業界は今後どうなっていくと思われますか。

テレビ業界は、新しい技術と視聴者の趣味嗜好をずっと追いかけて発展してきました。最近では映像も通信も、技術がどんどん進化しています。視聴デバイスは、テレビからパソコン、タブレット、そしてスマートフォンまで広がり、視聴環境もお茶の間だけではなく、多様化しています。一方、競合他社を見ると、これまでは放送局という固定のメンバーでの競争でしたが、私どもよりもはるかに巨大な企業が、競争相手として登場しています。近い将来に自動運転化が進めば、車内が視聴スペースとなり、大手自動車会社なども我々のライバルになる可能性がある。過去の50年とはまったく違う放送の新時代が、すでに始まっています。

「地上・BS・配信の一体運用」を2017-2019中期経営計画の柱に据えたのは、動画配信市場の拡大や、来年12月に控えたBS4K実用放送、次世代通信技術5Gサービスの開始といった、来る変革期でも持続的な成長を推し進めていくためです。

これまでは地上波は地上波、BSはBS、配信は選んだものだけを流すという手法を取っていました。これにこだわらず一番有効なところに、一番有効なコンテンツを流すということです。テレビ東京の原点、らしさは、良いコンテンツを作ることですが、このコンテンツをどこにどのように流せば、一番良い効果を得られるのか。これからは複合的な視点で考えないといけません。

これがうまくいけば、一つのコンテンツから得られる収益が、例えば今の3割増し、5割増しになるということが、十分あり得ます。「テレビ東京らしさ」というカルチャーを維持しながら、三つのツールを使いこなせる人材を増やしていく。時間のかかる作業ですが、10月1日付でコンテンツ戦略室を発足させ、そこに乗り出しているところです。

一方で配信方法についても、日本を代表するメディア企業5社と協業し、新たなプラットフォーム会社プレミアム・プラットフォーム・ジャパンを設立し、来春のサービス開始を予定しています。

身の丈に合った技術投資を行い、どんな技術革新が起こっても、もっとも大切なコンテンツを伝えることができる会社にしていくことが経営の基本方針であり、そのために一体運用を打ち出しているということです。

— 大きな変革期に対応できる準備を着々と進めているということですね。最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

◆ 一歩先行く総合メディアを目指します

株主の皆様は、テレビの前で共感を持ってくださっている方々の一番の代表だと、いつも感謝しています。これからも、“気づき”や“共感”という仕組みをきちんと磨き、皆様に愛されるテレビ局であり続けたいと思っています。

4Kや8K、VRなどの技術革新とともに、テレビの可能性、映像の可能性はこれからますます伸びていくでしょう。私どもも過去にとらわれず、グループの力を結集した新たな取り組みに挑戦し、「テレビ東京グループは面白いね」「常に新しいことを始めているね」といわれるテレビ局を目指してまいります。“テレビ東京らしさ”を武器に、グループ一丸となって総力を挙げて、大きな時代の波、技術の変革の波を乗り越えてまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



中期経営計画の概要

■ 地上・BS・配信 一体運用

地上	戦略的な番組編成 <ul style="list-style-type: none"> ● メディア変革期にふさわしいコンテンツの開発 ● 全セグメント収支を考慮した柔軟なコンテンツラインナップ
BS	BS4K実用放送 <ul style="list-style-type: none"> ● 2018年12月放送開始に向けたグループ全体での4K体制支援 ● 高品質な4Kコンテンツ開発とマネタイズ
配信	事業規模の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ● 有料動画配信 動画配信市場でコンテンツ展開拡大 アニメ自社プラットフォーム配信開始 ● 広告付無料動画配信 動画広告市場で一定のシェア確保 配信コンテンツ拡充とセールス体制強化

コンテンツ価値
最大化

グループ収益
最大化

テレビ東京 “らしい”ソフト開発と“タテ流れ”の強化



2017年度上半期の視聴率は、ゴールデンタイム (GH) 6.6%、プライムタイム6.2%、全日2.8%で、GHは前年+0.2ポイントという結果になりました。4月にレギュラー化した『出川哲朗の充電させてもらえませんか?』の好調や、『テレ東スポーツ祭』『テレ東音楽祭』そして『緊急SOS! 池の水ぜんぶ抜く大作戦』などの特番も話題となりました。

10月改編は、この流れを止めず、さらにチャレンジを続けます。

GHの新番組は火曜日『ヒャッキン!~世界で100円グッズ使ってみると?~』100円グッズだけがテーマという“テレ東らしい”ワンコンセプトのバラエティ番組です。また、前後の番組の流れを重視して、『主治医が見つかる診療所』など4番組の放送枠を入れ替えてタイムテーブルを強化し、視聴率アップを目指します。さらに深夜のドラマ『新宿セブン』やアニメ『おそ松さん』第2シリーズなど話題作にもご期待ください。

祝
50周年

お正月
SP決定

12/31夕方 第50回年忘れにっぽんの歌

大晦日恒例「年忘れにっぽんの歌」が記念の50回目を迎えます。半世紀にわたり日本を代表する歌手が集い、誰もが口ずさめる名曲の数々を熱唱してきました。今年も豪華歌手の夢の競演に、ご期待ください。



2016「年忘れにっぽんの歌」

お正月 緊急SOS! 池の水ぜんぶ抜くまで おめでどう大作戦SP

危険生物に悩まされる近隣住民のSOSに出動! 全国各地の池や河川に異変が…外来種が大量発生し困っている池の水を全部抜き、そこには何が潜んでいるのかを大調査! 今回は卑弥呼伝説の古墳のお堀に挑戦! さらにこれまでの全17池の気になるその後を徹底調査!



MC: 田村淳 (ロンドンブーツ1号2号)・田中直樹 (ココロコ)

火 夜 6:55 ヒャッキン! ~世界で100円グッズ使ってみると?~



日本が誇る“100円グッズ”を、世界各国の人々がどんな反応をするのか現地で調査! 思わず手にしたり、驚いたモノを実際に使ってもらおうと…感動したり、従来の用途とは違う使用法を発見したり!? “ヒャッキン”グッズが、世界の人々の役に立つように密着します。



ゲスト: ママタレントの皆さん 進行: 角谷暁子 (テレビ東京アナウンサー)

木 夜 7:53 主治医が見つかる診療所

※7:58からTXN系列にて放送

病気や怪我への不安を解消したい…。スタジオに様々な専門分野の現役医師が集結し、医療・健康にまつわる情報をわかりやすく解説。あなたの悩み、解決します!



司会: 草野仁、東野幸治 アシスタント: 森本智子 (テレビ東京アナウンサー)

BS ジャパン

BS“ドラマチック”JAPAN!

BSジャパン 

BSジャパン10月編成のキャッチフレーズはBS“ドラマチック”JAPAN。

目玉は土曜夜9時、連続ドラマ「浅田次郎『プリズンホテル』」です。無料民放BSではGH帯で初めて「本格現代ドラマ枠」を設けて、連続ドラマをスタートさせました。

もうひとつは火曜夜8時、池波正太郎時代劇『光と影』です。BSジャパンの時代劇は、2年連続、日本民間放送連盟賞番組部門

「テレビドラマ番組」優秀賞を獲得し、各方面から大変高い評価を得ています。

これらのドラマは、全て4K制作。現代ドラマと時代劇、2つのドラマを、BSジャパンブランドとして、定着させていきます。

2018年12月には、いよいよBS「4K放送」がスタートします。多様化していく視聴スタイルに応え、新たなBSジャパンファンを獲得するためのタイムテーブルづくりをさらに進めていきます。

10月
スタート

土 夜 9:00 連続ドラマ
浅田次郎「プリズンホテル」

2017年10月から、新ドラマ枠「連続ドラマ」をスタート！第1弾は、浅田次郎原作「プリズンホテル」。舞台は、“どんなワケありでも来るもの拒まず”の極道が経営するホテル。カタギの支配人を田中直樹(ココロコ)が、極道の親分でホテルオーナーを柄本明が演じます。不器用だが人間味あふれるワケあり従業員と各話ごと(全10話)にやってくるワケあり客との触れ合いを描く、笑って泣けるコメディです。



©浅田次郎/集英社・BSジャパン

出演：田中直樹(ココロコ)、矢野聖人、北香那、菅田俊、柄本明 ほか

火 夜 8:00 火曜ドラマ
池波正太郎時代劇「光と影」

時代小説の第一人者・池波正太郎の短編時代劇の中から、人間味あふれた12編を一話完結でドラマ化。各話ごとに実力派俳優を配し、「善悪が同居する人間の矛盾」を巧みな構成で描き出します。
12/12「断金の友」望月歩 ほか



金 夜 11:30 ピーター&ミツの
煮るなり焼くなり

ピーターの別宅にやってくるミツ・マングローブと様々なゲスト。おもてなしの料理と赤裸々な本音トークを大いに楽しむ金曜の夜。大人のための、「クッキングトーク【料理と会話を楽しむ】」番組です。



日 夜 9:00 石坂浩二の
ニッポン凄い人名鑑

人生経験豊富な石坂浩二が、自分の秘密の隠れ家に各界の「凄い人」をゲストに招き、スタイリッシュにもてなします。そして、他では聞けない「ここだけの話」を聞きながら、石坂が「プロの矜持」「生き方のヒント」「ものづくりの醍醐味」に迫っていきます。



配信事業

『池上彰の総選挙ライブ』
配信!

経済番組の会員制有料動画配信サービス「テレビ東京ビジネスオンデマンド」は、会員数が5万7,000人となりました。また話題となった『TXN衆院選SP池上彰の総選挙ライブ』では、会員向けに同時配信を実施。テレビでの視聴のために画質を大幅にアップしました。



有料
動画配信

外部提携

スペシャルドラマも4K配信

2017年4月からNetflixと連携した「木ドラ25」を開始、海外での配信も実施しています。またビートたけしさん主演のドラマ特別企画『破獄』などのスペシャルドラマも、外部配信サービスで4K配信しています。



木ドラ25「Re:Mind」

テレビ東京 毎週木曜深夜 1:00
BSジャパン 毎週火曜夜 11:00

出演者：けやき坂46

©「Re:Mind」製作委員会

「世界卓球2017」
3つの配信を実施!

「世界卓球2017」において、配信の側面からも盛り上げ、各メディアで高いアクセス数を記録しました。



①放送同時(サイマル)配信

「世界卓球」では初の試みとなるテレビ東京ホームページ上で放送同時配信を実施しました。

②ライブ配信

放送ではお伝えできなかった日本代表選手や注目選手の試合も、ライブ配信でお届けしました。

③アーカイブ配信

試合終了後にはYouTube等を中心に複数のメディアで配信し「世界卓球」過去最高の再生回数を記録しました。

花火大会も4K配信
土浦全国花火競技大会

BSジャパン 7

BSジャパンでは、大曲、長岡と並んで“日本三大花火”である「土浦全国花火競技大会」を10月7日に単独生中継。さらに、BSジャパン番組ホームページ、YouTubeBSジャパン公式チャンネルにて、4Kでライブ配信を行いました。



「ポケモン」&「銀魂」映画大ヒット御礼

シリーズ20作目となる「劇場版ポケットモンスター キミにきめた!」は観客動員数292.3万人、興行収入34.2億円(2017年9月末時点)を超える大ヒットを記録。また、小栗旬さん主演で7月に公開された映画「銀魂」は、観客動員291.5万人、興行収入は38.3億円(2017年10月22日時点)を超え、こちらも大ヒットとなりました。



©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon ©2017 ビカテックプロジェクト



©空知英秋/集英社
©2017映画「銀魂」製作委員会

オリジナルコンテンツ充実

2017年4月からサービスを開始したアニメ動画配信サービス「あにてれ」。10月からは話題の「ブラッククローバー」「おそ松さん第2期」を他配信サービスより一足早い見逃し配信を展開しています。「あにてれ」でしか見ることができないオリジナルコンテンツも充実。アニメファンの皆さんに楽しんでいただけるサービスを目指します。



最新アニメ映画情報

妖怪ウォッチ12月16日(土)公開

3年連続で映画ランキング初登場1位(※興行通信社調べ)を記録し、冬休みの定番作品に成長した映画「妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活」。今作では、登場人物は一新され、おなじみの妖怪たちは驚きの姿に。“大人も楽しめるライトホラー”へと生まれ変わりました。さらに、「ゲゲゲの鬼太郎」とのコラボも実現し、声を担当されるのは初代鬼太郎・野沢雅子さん。今までとは一味違う新たな「妖怪ウォッチワールド」をぜひ劇場でご覧ください。



©LEVEL-5/映画「妖怪ウォッチ」プロジェクト 2017

2017年度上半期は増収、増益を達成 通期の業績予想を上方修正

売上高

700億
7千3百万円
(前年同期比+0.1%)

営業利益

34億
7千4百万円
(前年同期比+8.2%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

24億
2千8百万円
(前年同期比+14.4%)

1株当たり中間配当金

15円

総資産

1,168億
4千9百万円

純資産
(自己資本比率)

805億
2千6百万円
(66.8%)

1株当たり配当金

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。
1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。
(2018年3月期 期末配当予想)1株当たり25円(年間配当は1株当たり40円)

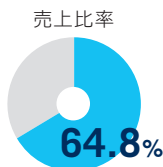
2018年3月期 業績予想

売上高 …………… 1,465億円
(前年同期比+2.7%)

営業利益 …………… 63億円
(前年同期比-1.5%)

地上波放送事業

■売上高	541億5千6百万円 (前年同期比-2.3%)
■営業利益	32億8千3百万円 (前年同期比+5.5%)



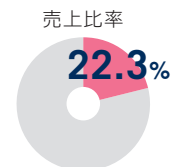
放送収入のうち番組を提供するタイムCM収入は、営業企画や『全仏オープンテニス2017』『世界卓球2017』などの特番セールスは計画通りに進んだものの、昨年開催されたリオデジャネイロオリンピックの反動もあり減収となりました。また、番組の間流れるスポットCM収入は枠運用の効率化と販促企画を講じたものの減収となりました。

ソフトライツ収入では、映像配信企業との連動企画によるドラマの配信権利や、『勇者ヨシヒコ』シリーズをはじめとする深夜ドラマのDVDと配信追加印税が好調でした。一方、海外番組部門は前年度に比べ伸び悩みました。アニメ事業では、海外で『NARUTO』の配信、ゲームを中心に堅調に推移しました。

【連結子会社】(株)テレビ東京

放送周辺事業

■売上高	186億1千2百万円 (前年同期比+6.6%)
■営業利益	14億4千9百万円 (前年同期比+11.3%)



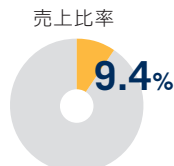
音楽出版関連はアニメ楽曲の印税収入により堅調でした。通信販売関連では、『なないろ日和!』をはじめとする通販事業が放送時間の拡大もあって好調だったほか、4月新番組『よじごじDays』の広告関連売上も増加しました。

CS放送関連では、アニメ専門チャンネル「AT-X」は加入者数の減少傾向が続きました。

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック／(株)テレビ東京メディアネット／(株)テレビ東京コマース／(株)テレビ東京アート／(株)テレビ東京システム／(株)テレビ東京制作／(株)テレビ東京ダイレクト／(株)テレビ東京ヒューマン／(株)テクノマックス／(株)テレビ東京ビジネスサービス／(株)イー・ティー・エックス／TV TOKYO AMERICA, INC.

BS放送事業

■売上高	78億2千万円 (前年同期比0.0%)
■営業利益	3億7千1百万円 (前年同期比-45.7%)



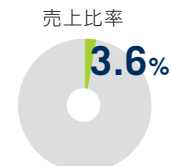
放送収入は、『昭和音楽祭』などの特番セールスが好調だったほか、スポットセールスも期後半から回復基調になっています。

費用面では、昨年の本社移転による費用増加のほか、特別番組の内容強化のための番組制作費の増加がありました。

【連結子会社】(株)BSジャパン

インターネット・モバイル事業

■売上高	30億2千6百万円 (前年同期比+37.5%)
■営業利益	1億7千6百万円 (前年同期比-5.8%)



インターネット・モバイル事業では、お取り寄せグルメ「虎ノ門市場」が好調だったほか、クロスメディア広告企画が引き続き好調でした。キャラクター関連では、国内、海外のライセンスを獲得したほか、その他アプリ等の開発売上が予想を上回りました。

費用面では、プロモーション強化のための広告宣伝費の増加等がありました。

【連結子会社】(株)テレビ東京コミュニケーションズ

テレビ東京グループはCSR活動の柱として積極的に「次世代育成」に取り組んでおり、子供たちにテレビ東京の仕事を経験してもらう様々なプログラムを用意しています。



校外学習

六本木新本社で再開

本社移転作業に伴い活動を休止していた「校外学習」を六本木新本社で再開しました。テレビ東京には「見学コース」はありません。逆に言えば社内すべてが見学コース！ありのままの職場を経験してもらいます。

■ 電力消費10分の1のスタジオ

まずは第1スタジオと第2スタジオへ。新本社はスタジオやオフィスの照明を全てLED化しました。熱くならないのでエアコンの使用も激減し、番組を1本作るのに使う電力消費量は従来の10分の1に減りました。



■ アナウンサー体験などハラハラドキドキの時間

プログラムの目玉は昼のニュース『Mプラス11』の生放送。放送直前のスタジオに潜入し、アナウンサー体験をしその後、放送の司令塔であるサブコントロールルームで番組が進行していく様子を目撃します。また重さ約10キロのカメラも担いでみます。ハラハラドキドキの体験がいっぱい。それがテレビ東京の校外学習です。



文科省から3年連続で表彰

こうした活動は子供たちの職業観の醸成に役立つとともに未来を生きる力を育み、ひいては経済の活性化や社会の持続性にもつながると考えています。地道な活動が評価され、文部科学省の主催する「青少年の体験活動推進企業表彰」で「審査委員会奨励賞」を3年連続で受賞することができました。



キャリア大学

大学生が選ぶ「日本一の授業」に選ばれました

約3万人の大学生のアンケートによって決定する「キャリア大学アワード2017～学生が選ぶ日本一の授業」。2017年度、テレビ東京の授業「報道と制作の現場を体験する」が総合部門で最優秀賞に選ばれました。「キャリア大学」は、大学1、2年生が将来を考えるための授業を開講するもので、日本を牽引する官庁や金融、マスコミなど約40団体が協賛しています。



テレビ東京グループ

(株) テレビ東京ホールディングスは、地上波放送、BS放送、インターネット・モバイルなど、あらゆるメディアを持つテレビ東京グループの持株会社であり、ひとつのコンテンツが持つ価値の最大化を目指します。

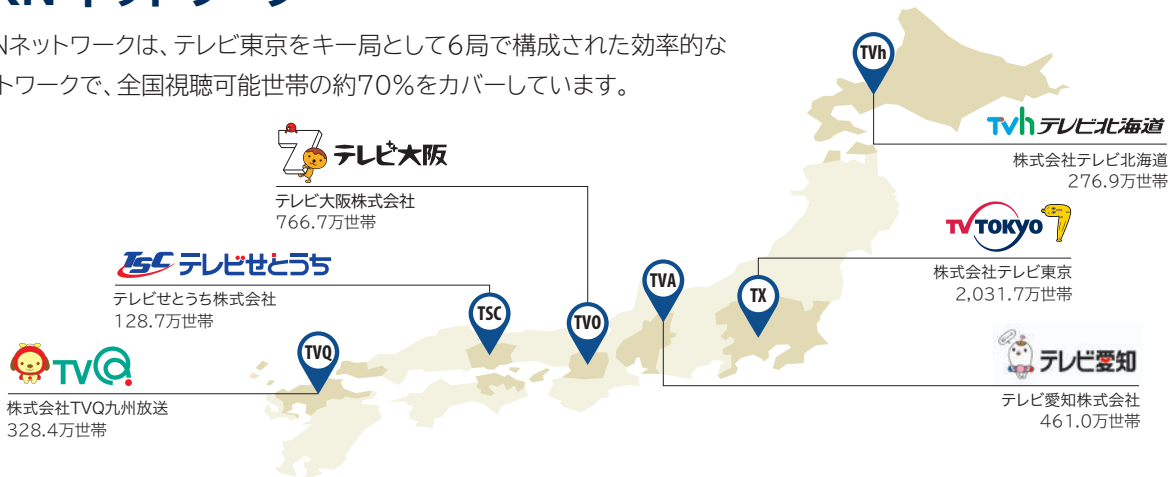


沿革

1964年	テレビ東京	日本科学技術振興財団テレビ局開局、放送開始
1968年	テレビ東京	(株) 東京十二チャンネルプロダクション設立
1973年	テレビ東京	(株) 東京十二チャンネルに社名変更 科学教育専門局から一般総合局へ
1981年	テレビ東京	(株) テレビ東京に社名変更
1985年	テレビ東京	港区虎ノ門に社屋移転
1998年	BSジャパン	(株) ビー・エス・ジャパン設立 (現: (株) BSジャパン)
1999年	テレビ東京	天王洲スタジオ完成
2001年	テレビ東京 コミュニケーションズ	テレビ東京ブロードバンド (株) 設立 (現: (株) テレビ東京コミュニケーションズ)
2010年	テレビ東京 ホールディングス	(株) テレビ東京、(株) BSジャパン、テレビ東京ブロードバンド (株) が経営統合して (株) テレビ東京ホールディングスを設立
2016年	テレビ東京 ホールディングス	(株) テレビ東京ホールディングス、(株) テレビ東京、(株) BSジャパン、港区六本木に社屋移転

TXN ネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として6局で構成された効率的なネットワークで、全国視聴可能世帯の約70%をカバーしています。



※住民基本台帳(総務省作成、2017年1月1日現在)の世帯数をベースに、民放テレビ局エリア調査(日本アドパタイザーズ協会)2008年版のカバレッジ数値を使用し、各局のエリア世帯数を算出。
なお、テレビ北海道のカバレッジは同社調べ。

会社情報 (2017年9月30日現在)

会社概要

会社名	株式会社テレビ東京ホールディングス (TV TOKYO Holdings Corporation)
本店所在地	東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー
URL	http://www.txhd.co.jp/
設立	2010年10月1日
資本金	100億円

役員

代表取締役会長	高橋 雄一	株式会社テレビ東京 代表取締役会長
代表取締役社長	小孫 茂	株式会社テレビ東京 代表取締役社長
専務取締役	田村 明彦	営業・ソフトライツ・ビジネス開発統括
	石川 一郎	4K事業担当、株式会社BSジャパン 代表取締役社長
	宮田 鈴子	法務統括、リスク管理委員会委員長、 情報セキュリティ統括責任者、個人情報管理統括責任者
	廣瀬 和彦	経営企画、IR、広報、グループ戦略、メディア戦略、ネットワーク担当
常務取締役	神谷 雄治	経理統括、内部統制委員会委員長
	松下 弘幸	技術戦略、情報システム担当
	武田 康孝	編成・制作、スタジオ運用管理、メディア・アーカイブ統括
取締役	遠藤 泰	秘書、総務人事担当、業務改善統括
	喜多 恒雄	株式会社日本経済新聞社 代表取締役会長
	大橋 洋治	ANAホールディングス株式会社 相談役
	岩沙 弘道	三井不動産株式会社 代表取締役会長、会長執行役員
常勤監査役	村田 一郎	
監査役	鎌田 真一	株式会社QUICK 特別顧問
	松尾 邦弘	弁護士
	加賀見 俊夫	株式会社オリエントランド 代表取締役会長(兼)CEO

(注) 1. 取締役 喜多恒雄氏、取締役 大橋洋治氏、取締役 岩沙弘道氏は社外取締役です。
2. 監査役 鎌田真一氏、監査役 松尾邦弘氏、監査役 加賀見俊夫氏は社外監査役です。

グループ全体の最新情報はこちら

<http://www.txhd.co.jp/>

TXHD

検索

詳しくは
Webで

テレビ東京ホールディングスとグループ会社の最新情報をまとめて閲覧できます。また、テレビ東京ホールディングスの経営計画や財務情報、株式情報など、株主・投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



株式情報 (2017年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式総数	28,779,500 株
株主数	9,708 名
単元株式数	100 株

大株主

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
株式会社日本経済新聞社	9,052,710	31.46
吉田嘉明	1,400,000	4.86
株式会社みずほ銀行	1,006,300	3.50
三井物産株式会社	1,002,050	3.48
日本生命保険相互会社	680,150	2.36
株式会社東京計画	660,000	2.29
株式会社三菱東京UFJ銀行	595,500	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友銀行退職給付信託口)	590,500	2.05
テレビ東京ホールディングス社員持株会	549,245	1.91
株式会社 MBS メディアホールディングス	518,050	1.80
東レ株式会社	518,050	1.80

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

お手続き

- 株主に関する各種お手続き(未受領の配当金を除く)につきましては、原則、口座を開設している証券会社等で承ります。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行、みずほ銀行及びみずほ証券(取次のみ)の本支店で承ります。
- ご不明な点は、下記のみずほ信託銀行へお問い合わせください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324(フリーダイヤル)

IRメール配信サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方へ、テレビ東京ホールディングスのニュースリリース、IRニュースをEメールでお知らせいたします。

当社ホームページからご登録ください。 <http://www.txhd.co.jp/ir/mail/>

お問い合わせ先

株式会社テレビ東京ホールディングス 総務人事局総務部
〒106-8007 東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー ☎03-6635-1771(代表)



この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、植物油100%の「植物油インク」を使い、「水なし印刷」で印刷しています。

